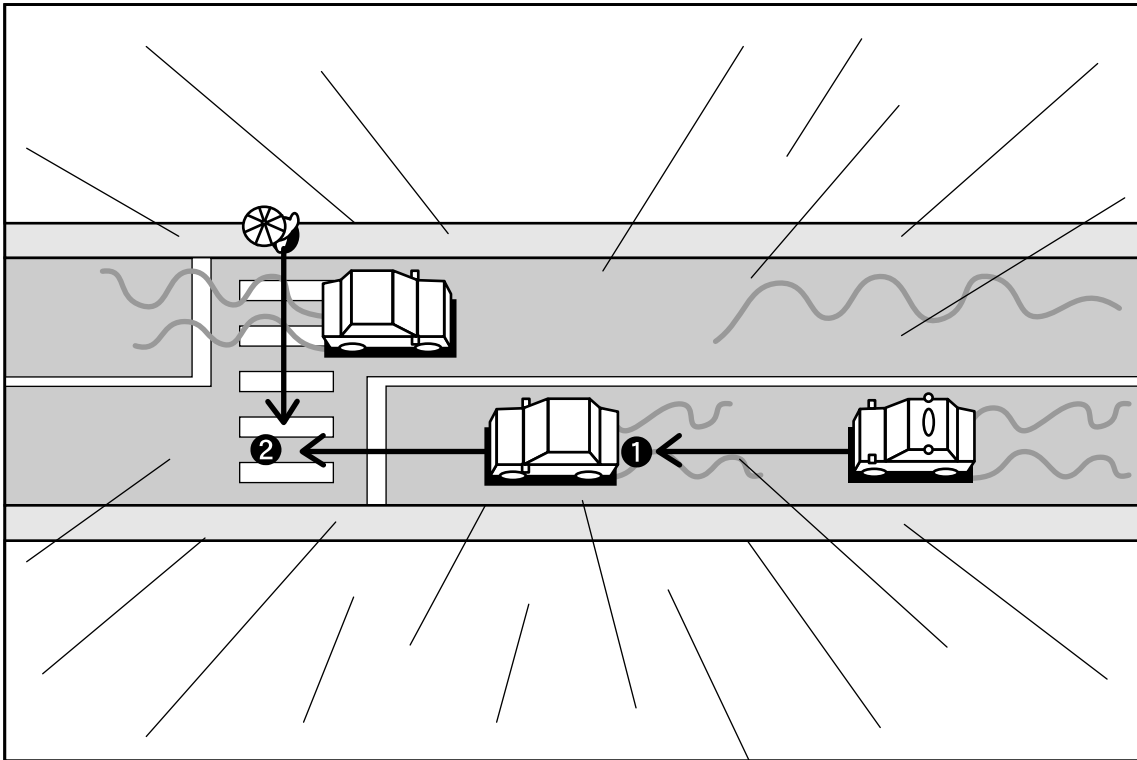


〔タクシー5〕雨天時の走行



1. 主な危険要因の例

- ① 対向車の向こうに傘をさした歩行者の姿が見えるが、その歩行者が横断歩道を渡ってきたために、前車が急停止すると前車に追突する危険がある。
- ② 前車に追従して横断歩道を通しようとする時、前車の通過直後に横断してきた歩行者をはねる危険がある。

2. 安全運転の例

- ① 前方に信号機のない横断歩道があり、その付近に歩行者がいるときは、横断してくるかもしれないと予測するよう指導する。
- ② 横断歩道付近に歩行者がいるときは、スピードを落として接近するよう指導するとともに、前車に追従して走行しているときは、前車の急停止を予測して、十分な車間距離を保持するよう指導する。
- ③ 歩行者が横断歩道を渡ってきたときは、必ず手前で一時停止して、歩行者を先に行かせるよう指導する。

3. 乗務員指導のポイント

- ① 横断歩道に接近したときは、明らかに歩行者等がない場合のほかは、その手前で停止できる速度を落として進行する義務があることを認識させる。
- ② 歩行者等が横断歩道を渡ってきたときは、必ず一時停止して歩行者等を先に行かせるよう指導する。
- ③ 横断歩道のある場所では、自車線側だけでなく、対向車線側にも歩行者がいなかどうかを必ず確認するよう指導する。